



あけましておめでとうございます

2020年が始まりました。本年もどうぞよろしくお願いいたします。
 11月から12月にかけて、インフルエンザが猛威を振るいました。11月19日から1年4組・5年1組の学級閉鎖を皮切りに12月20日の学習発表会直前までどこかのクラスが学級閉鎖、どの先生かがインフルエンザでダウンという状況が続きました。学級閉鎖の対応をした学級は、6年2組・6年4組・5年2組・5年3組・3年2組・3年3組の全8クラスでした。5年生は授業内容、時数も多いので、5年生の学級閉鎖をしたクラスでは、数日7時間目の授業を組むなどの対応をしました。しかし、年明けからはインフルエンザ罹患者は0ではないものの、流行は下火になっています。

9月から10月にかけて書いていた菊陽西小便りが滞ってしまい大変失礼いたしました。また少しずつお届けします。



菊陽西小だより



NO.9

R2. 1. 17

菊陽町立

菊陽西小学校

文責：草場ルミ子

提案書の

令和元年度から、菊陽町の全ての学校は、国版コミュニケーションスキルになりました。コミュニケーションスキルの中核は、学校運営協議会で、地域住民や保護者、関係団体や学校の代表の委員により構成されています。学校運営にあたっての目標や課題を共有し、地域と共にある学校づくりを目指します。学校運営に当たって協議会は年3回程度開催します。第1回は7月に行い、今年度のテーマを「あいさつ」「安全」と決めたとことです。第2回を12月に行い、「あいさつ」について子ども自身から委員さんに報告をしたというのが左の内容です。
 尚、運営協議会長は、元PTA会長の中田力さんです。

冬休み明けの1月8日の朝の子どもたち、正門前で「おはよう！」「おはようございま〜す！」「オハヨー！」いくら大きい声で言っても、なかなか元気なあいさつは返ってこず、一言で言うとドヨンとした空気・・・、 **あいさついっぱい**の菊陽西小学校に！

後期始業式や冬休み前集会の時など、「あいさついっぱいの西小にしよう！」という話を子どもたちにしましたが、冬休み明けの集会（1月8日）でも話をしました。ただ、会釈するだけや声を出さずに口を動かすだけって、あいさつしたことになるのかなあ？？？と。1月10日金曜日、正門前に立っていると、初日とは打って変わって元気なあいさつを返す子が多数。しかも、おもしろいのが、私をめぐって進んできて、私に向かって「おはようございます」と言うんです。その日は、児童運営委員会の子どもたちも、PTAで作っていただいたタスキをつけて、正門前と南門前であいさつ運動（毎週月曜と金曜朝に行っています）をしてきていましたよ。



学校運営協議会で子どもたちから提案

昨年話になりますが、12月20日学習発表会の後、学校運営協議会（右の「校長室の窓から」をご覧ください。）を開催しました。その際、児童運営委員の代表4名の子どもに、自分たちのあいさつ運動の取組の概要、成果や課題について話してもらいました。委員の皆様からは「長く続けることは大事ですよ。」「あなたたちは、あいさつ運動を体験しているから、西小のあいさつの課題も分かるけれど、もっとたくさんの人に広げてください。」「たくさんの人に体験してもらうことが大切だね。」などの言葉をいただきました。

児童集会で提案

また1月16日の児童集会では「2020 菊西（きくにし）あいさついっぱいプロジェクト」を立ち上げる提案をしてくれました。1月24日の代表委員会では、各学級や委員会からいろんな案がだされることを楽しみにしています。



踏み出してみよう
 だめって言える
 勇気と優しさ

平成29年度 熊本県
 人権メッセージ作品集より～



第8条



～体験の意義～
体験で得られる本物知と心
 ～くまもと家庭教育10か条より～